



## ■ 地域における人づくり実践事例

### 着物を通して日本文化を伝えます

#### きもの装・遊・楽・和の会（浜松市）

代表 鈴木 陸子（人づくり推進員）  
浜松市中区鴨江 3-49-5  
問合せ ☎ 053-453-4776



色鮮やかな浴衣が並びます



浴衣のたたみ方を教える鈴木推進員

### 中学校での和文化体験実習

浜松市で活動する「和裁きつけ教室『きもの装・遊・楽・和の会』」の代表で県の人づくり推進員を務める鈴木陸子さんは、和裁と着付けの教室や、一般市民の方々と年間6回程度の着物勉強会を開催しています。

浜松市立篠原中学校で1年生を対象に行われた被服伝承文化「和文化体験実習」では、鈴木推進員が講師として招かれ、日本文化についての講義と浴衣の着付け体験が行われました。篠原中学校では、日本文化や和服について、生徒たちが地域で活動している鈴木推進員のような方に直接会って教えてもらうことに大きな価値があるという考えから、昨年度から鈴木推進員を講師として招き、総合・家庭科の授業として和文化の体験実習を行っています。

実習前に鈴木推進員にお話を伺うと「日本人として大切にしたい、四季の感覚や礼儀作法、通過儀礼を伝えたい」とおっしゃっていました。



友達同士で浴衣を着せ合い、生徒たちの楽しい会話が印象的、にぎやかな実習になりました。楽しみながら日本文化や着物について学ぶことができ、良い経験になったのではないのでしょうか。

### 浴衣の着付けを体験！

実習は、まず、鈴木推進員と「きもの装・遊・楽・和の会」のお弟子さんが実演して見せ、その後、生徒たちが2～3人のグループに分かれて実践しました。また、当日は地域の民生委員等、地元の大人たちも生徒たちのアドバイザーとして実習に参加しました。

初めて着物を着るといふ生徒もいたなか、生徒たちは大人に教えてもらいながら、あるいはグループ内で試行錯誤しながら浴衣を着ていました。

生徒たちからは「浴衣を着るのは初めてで、とても新鮮な気持ちになった。」「一つの帯だけで色々な形ができるのが美しい。着物は一枚の布で身体に合わせて着ることができるのがいいなと思った。」という感想が聞かれました。

今回の実習をきっかけに、着物をはじめとする日本文化への理解を深め、ぜひ「和」の心を大切にしたいと思います。（山田）



生徒からの質問に応じる鈴木推進員。優しい笑顔が印象的です。「和の会」という団体名には、「和」の心を大切に、伝えていきたいという鈴木推進員の思いも込められています。

## ■ 地域における人づくり実践事例

### 地域の子供たちに楽しみを提供

片岡きらめき塾（吉田町）  
（片岡区地域教育推進協議会）

【事務局】

吉田町教育委員会生涯学習課

問合せ ☎ 0548-33-2152



門松の作り方を説明する大石代表



完成したオリジナル門松！

### 地域全体で子供を育てます

榛原郡吉田町には、町内4地区にそれぞれ地域教育推進協議会が存在し、地域の子供を対象に、通学合宿や季節に合わせた行事等を実施しています。今回はその中でも片岡区の地域教育推進協議会「片岡きらめき塾」の活動を御紹介します。

「片岡きらめき塾」は平成20年度から活動を開始し、年間6回程度、地域の子供たちや親子で楽しめる行事を実施しています。12月21日（土）には小学生の親子など約34人が参加し、門松づくりが行われました。

この日は「片岡きらめき塾」のスタッフはもちろん、近隣地区から手伝いに来ている方もおり、約10人が講師を務めました。門松づくりを始める前には、門松の由来や歴史の説明のほか、お正月の歌をみんなで歌い、会場は温かい雰囲気になりました。



親子とスタッフが協力して門松を作ります。スタッフが教えてつつ、難しい作業は親子で互いに手伝い合いながら、それぞれの門松を作っていきます。



はさみやカッター、のこぎりを使う場面もありますが、保護者やスタッフが正しい使い方を教え、付き添いながら作業します。

### いざ、門松づくり！

「片岡きらめき塾」代表の大石基夫さんから門松の作り方について説明が終わると、いざ、親子で門松づくりの開始です。

まずは土台づくりから。缶に畳表を巻きつけ、入れ物を作ります。入れ物が完成すると、次はあらかじめちょうどいい長さに切り揃えられた竹に、のこぎりを使って斜めに切り口を作ります。親子で竹を押さえる役、のこぎりや竹を切る役に分かれ、息を合わせて作業していました。

缶の中に土を入れて竹を固定すると、松の葉や梅の木、千両を用いて飾り付け。水引や扇形の飾り、様々なイラストが描かれた紙も用意されており、オリジナルの門松ができるようにしているスタッフの皆さんの工夫も感じられました。

また、この門松づくりに使用した竹や千両等の材料は、スタッフの皆さんや育成会、子ども会の方が、近くの竹林で採取してきたそうです。スタッフの一人は「私たちだけでは力作業も大変だけど、育成会や子ども会の方が協力してくれてとてもありがたい。」と話されていました。地域の子供のために「片岡きらめき塾」はもちろん、様々な方が協力する体制ができている、とても素敵な地域だなと感じました。（山田）



自分だけのオリジナル門松づくり。梅や千両の位置、イラスト飾りの種類など、アレンジのしがいがあります。

## ■ 地域における人づくり実践事例

### 楽しい読み聞かせ会を開催！

#### よみきかせ会 ひまわり（掛川市）

代表 和田 とし子  
掛川市葛ヶ丘 3-7-7  
問合せ ☎ 0537-23-2649



会場に飾られていたひまわり柄のタペストリー

#### 昭和 56 年から活動

掛川市で活動する「よみきかせ会 ひまわり」は、地元の主婦を中心とした有志による読み聞かせグループです。昭和 56 年から活動を始め、令和 2 年には 40 年目を迎えるなど、地域に根差した活動を長年行っています。

主な活動は、毎週水曜日に掛川市立中央図書館で行っている 1 時間ほどの読み聞かせ会です。「よみきかせ会 ひまわり」のメンバーで 4～5 人の班を作り、4 班が毎週交代で地域の子供たちに向けて読み聞かせを行っています。

また、毎年夏と冬の年 2 回、「おたのしみ会」という大型紙芝居などを使ったイベントも開催しています。100 人以上の子供たちが集まるイベントで、多くの方に愛されていることがうかがえます。

他にも、地域の方から依頼が来ることがあり、保育園や幼稚園、小学校、高齢者サロン、掛川市の方にはなじみ深い大日本報徳社など、様々な場所で読み聞かせ活動を行っているそうです。



昨年夏に行われた「おたのしみ会」の写真を見せていただきました。皆さんの晴れやかな笑顔が素敵です。

取材に訪れた日は 12 月 25 日（水）のクリスマス。乳幼児約 15 名とその保護者に向けて『マッチ売りの少女』などクリスマスに関連した紙芝居や絵本、計 4 冊の読み聞かせが行われました。

1 冊ごとに読み手が変わり、紙芝居や絵本の内容に合わせて優しく語り掛けるように読む方、セリフに感情を込めて楽しげに読む方などがおり、子供たちも引き込まれたように熱心に読み聞かせを聞いていました。

また、クリスマスにちなみサンタクロースの格好をしたメンバーもいるなど、視覚的にも楽しい読み聞かせ会となりました。

#### 工作も楽しめます

毎週水曜日に行っている読み聞かせ会では、読み聞かせだけでなく工作の時間もあります。七夕飾りなど季節に合わせたものを作っているそうです。この日は、令和 2 年の干支ねずみの折り紙としめ縄飾りを作りました。保護者も一緒に取り組み、とてもにぎやかな工作時間となりました。

子供たちが読み聞かせを聞くことができ、工作も楽しめ、お土産もできる読み聞かせ会。これからも末永く続いてほしいと思います。（山田）

折り紙でねずみを折る  
和田代表と子供たち。  
「よみきかせ会 ひまわり」の皆さんと参加者親子が、一緒になって工作に取り組んでいました。



しめ縄飾りもみんな楽しく作ります。おうちに飾るのが楽しみです  
ね！

## ■ 県・市町の取組紹介

### 社会総がかりの教育の実現を目指して

### 家庭教育支援フォローアップ研修会

静岡県文化・観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

静岡県教育委員会社会教育課

問合せ ☎ 054-221-3162



講師の栗原拓也氏  
(静岡英和学院大学 准教授)



グループワークの様子

#### 各支援者のスキルアップ

静岡県文化・観光部総合教育課と静岡県教育委員会社会教育課は、今年度、初の試みとして人づくり推進員と家庭教育支援員の合同研修会「家庭教育支援フォローアップ研修会」を共同で開催しました。

9月27日（金）に三島市民文化会館で、10月30日（水）に静岡県総合教育センターでそれぞれ開催し、人づくり推進員や静岡県家庭教育支援員、市町スクールカウンセラー、市町スクールソーシャルワーカー、市町行政職員等が参加しました。

この研修会は、家庭教育支援や子育て支援、人づくりに関する活動等、地域において様々な立場で活動している支援者が、お互いの活動内容や考え方、課題等を知ること、各支援者のスキルアップと異なる立場の支援者同士の連携を図ることを目的としています。

最初に、静岡英和学院大学准教授栗原拓也氏による講演「子どもと家族を支えるコミュニケーション」が行われ、支援者が相談援助を行う際に必要となるコミュニケーションについて御講演いただきました。言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについての説明や、支援者と相談者間において、意思をどのように伝え、表現すべきか、相談者の考えをどうすれば正確に読み取ることができるかというお話がありました。

#### 異なる立場の支援者同士の連携に向けて

講演後は、市町の特徴ある取組の紹介として、人づくり推進員の講演と家庭教育支援員のグループワークを組み合わせた講座を行った熱海市と川根本町の事例を紹介しました。

その後、グループに分かれ、日々の活動状況など情報交換と意見交換を行いました。前半と後半で異なるグループを作り、地域や立場を超え、より多くの方と話ができる機会を設けるようにしました。

研修会後のアンケートには、「自分と同じ地域に暮らす、他の立場の方の活動を初めて知ることができ、勉強になった。地域で何か連携して取組ができそう。」といった声や「他の市町の取組を知ることができ、大変参考になった。」「与えられた場・活動だけでなく、自ら求めて活動の場を切り拓いていく重要性を改めて痛感した。」などといった感想が寄せられました。

今回の研修会では、講演によりコミュニケーションのスキルアップが図られ、グループワークでは自分と異なる立場の方の活動や、他市町の取組等を情報共有することが出来ました。この研修会を生かし、社会総がかりの教育の実現に向け、支援者同士、あるいは支援者と市町行政の連携が進むことを望みます。

■編集・発行 静岡県 文化・観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp) URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

